

令和三年度

卒業証書授与式 式辞

日差しが日に日に暖かさを増し、中庭の木々が芽を吹いて、新たな時の到来を感じる早春の佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立牧野高等学校 第四十四回卒業証書授与式を挙行できますことは誠に慶びに堪えませぬ。

只今、卒業証書を授与されました牧野高等学校 第四十四期三百十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。三年間本当によく頑張りましたね。

保護者の皆さまには、新型コロナウイルス感染症に係る昨今の状況の中、本日、ご卒業の日を無事

お迎えになられましたお喜びは、いかばかりかと拝察します。心よりお祝い申し上げますと共に、ご入学以来、本校の教育活動にご理解とご協力、温かいご支援を賜りましたことに、感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんは私の自慢であり誇りです。牧野高校で前例のない時を一緒に駆け抜けてくれました。時代が平成から令和に代わる年に、牧野高校が生徒の安全第一と二十年ぶりに制服化した最初の入学生でした。上級生との違いに戸惑いや色々な思いがあつたかも知れませんが、新学習指導要領の先取り実施の「総合的な探求の時間」は皆、手探りでした。大学入試は制度内容自体が二転三転しました。そして二年前から新型コロナウイルス感染症による混乱です。一年生の春休みから三カ月もの間、突然学校閉鎖を余儀なくされ、通常授業による学習機会を失いました。新クラスに馴染む遠足や六月の体育祭は中止、部活動も禁止になりました。春夏の甲子園とインターハイの中止は、歴史上で初めてのことでした。それでも牧野高校では、秋に何とか「牧高フェス2020」を開催し、修学旅行も延期延期の末に無事沖縄に行き、三年生最後の牧高祭では無観客ながら演劇をして楽しむ姿がありました。困難な環境に負けずに今を充実させる姿がありました。

マスク越しに友と語り笑い合う姿が印象に残りました。「疾風に勁草を知る」は、逆境や不運に見舞われた時に、人の真の強さがわかる喩えですが、コロナ禍で日常生活を大きく変えなければならぬ困難の中で耐え、無事に卒業の日を迎えた皆さんは、柔軟な修復力という大事な非認知能力を高校生活で身に付けてくれました。立派です。

さて、皆さんは明日から、もう制服を着ることはありません。遅刻で先生に指導されることはないし、お化粧やピアスも自由です。宿題は無いし、一日中読書やゲームをしても自由です。更に四月一日からは改正民法の施行で皆さんは一斉に同時に、法律上の十八歳成年に達して、成人として社会的に大人の扱いになります。保護される立場ではなくなり、保護者の同意なしに、自分の意志と判断で進路や住居等の契約ができ、人生の選択を自由に自分の意思で出来ます。今、世界中で、国家体制や紛争等で個人の自由が制約されている人々が多くいる中で、日本では憲法で沢山の自由が保証されています。自由は素晴らしい。

但し自由は孤独と責任を取ることとが一体です。責任を取らない自由はない。そして、物事は常に自分の思うように進まないし、人生で起きたことはゲームの様にリセットや、無かったことにできない。それが自由に生きることの別の側面です。

私は、大学受験に失敗し、一浪で第一志望の大学に入りました。就職の花形だった銀行員になり、ドイツに留学し、イギリスでも生活をしました。日本経済がバブルに沸き、その崩壊を辿る中で、リストラの仕事をして銀行を辞め、病院や楽器の会社、大学など四回の転職をして、今、牧野高校の校長をしています。人生に上り坂と下り坂があり、まさかの坂を転がることもある。平坦で成功ばかりが人生ではないと実感します。でも自由であった。責任は自分で取ったと自負しています。

責任を取るのを嫌がり、楽になりたいために他人の指示を喜び、個性を喪失して、画一化していく全体主義の大衆心理をE・フロムがかつて『自由からの逃走』に書いていますが、自由であるためには、孤独と責任を受け止める必要があります。

皆さんへの饒は、私の motto の「勇気、忍耐、楽天性」です。初めてすることでも恐れず挑戦する「勇気」、思い通りにならない時にも我慢して活路を切り開く「忍耐」、生きていることを幸運として、なんとかなると開き直る「楽天性」です。

コロナ禍を経験した人類は更に科学技術を進展させ世界を一層変化させるでしょう。皆さんには、FakeNews に紛らわされず自分の頭で考え、個性を活かし、やりたいこと、出来ることを見つけて社会での役割や己の使命を果たしてほしい。

最後に、幸せになる最大の秘訣は物事全て「感謝」することです。卒業生の皆さんには、今日の日の喜びを保護者の方や先生方と分かち合おうと共に、感謝をしてもらえれば有難いです。ありがとうございます。結びに、ここにいる卒業生の新たな旅立ちを会場の皆様とご一緒にお祝いし本日の式辞とします。ボンボヤージュ皆さんの良き未来を祈ります。卒業おめでとう。

令和四年三月一日

大阪府立牧野高等学校

校長 日 笠 賢